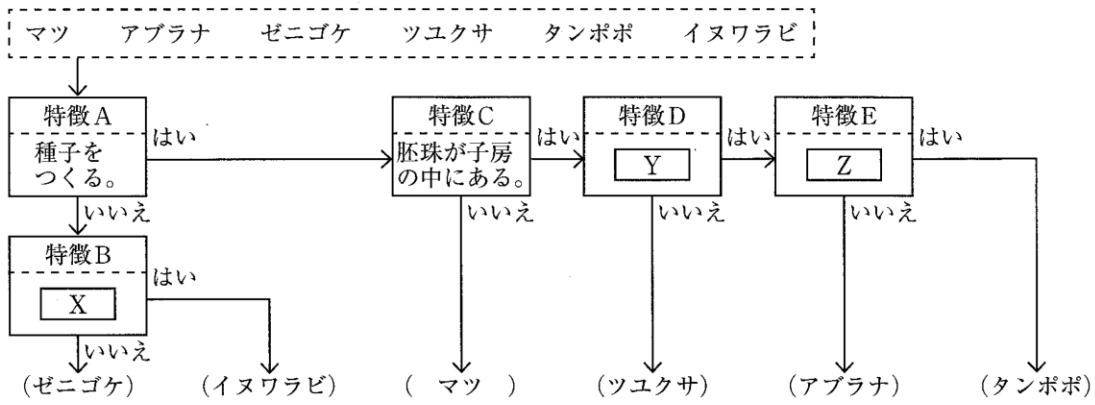


1 次の図は、[]の中の6種類の植物を、特徴A～Eにあてはまる場合は「はい」、あてはまらない場合は「いいえ」で答えていくことで分類したものです。これについて、との問い合わせに答えなさい。



(1) 図の特徴Aにあてはまらないゼニゴケとイヌワラビは、種子のかわりに何をつくってなかまをふやしますか。名称を答えなさい。

(2) 図の[X]の特徴には、次のいずれかの特徴が1つあてはまります。どの特徴があてはまりますか。記号で答えなさい。

ア 株には雌株と雄株がある。

イ 葉、茎、根の区別がある。

ウ 地面などにからだを固定する仮根がある。

エ 花には雌花と雄花がある。

(3) 図で、種子をつくる植物を特徴Cによって分類するとき、マツのなかまを何植物といいますか。名称を答えなさい。

(4) 図の[Y], [Z]の特徴には、次のいずれかの特徴が1つずつあてはまります。どの特徴があてはまりますか。それぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 子葉が1枚である。

イ 葉脈が網目状(網状脈)である。

ウ 花弁のもとがくっついた花を咲かせる。

エ 果実をつける。

(5) 次のうち、図の①イヌワラビ、②ツユクサ、③タンポポと同じなかまに分類される植物はどれですか。それ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア ユリ イ スギゴケ ウ ツツジ

エ ナズナ オ ゼンマイ カ ソテツ

(2) アとウはゼニゴケだけにあてはまる特徴です。エについて、ゼニゴケもイヌワラビも花を咲かせません。

(3)(4) 特徴Cは種子植物を裸子植物(マツ)と被子植物(ツユクサ、アブラナ、タンポポ)に分類します。特徴Dは被子植物を單子葉類(ツユクサ)と双子葉類(アブラナ、タンポポ)に分類するので、双子葉類のもつ特徴(イ)があてはります。特徴Eは双子葉類を花弁が離れた花(離弁花)を咲かせるアブラナと、花弁のもとがくっついた花(合弁花)を咲かせるタンポポに分類するので、タンポポのもつ特徴(ウ)があてはります。

(5) 図のように分類すると、スギゴケ(イ)はゼニゴケのなかま、ナズナ(エ)はアブラナのなかま、ソテツ(カ)はマツのなかまに分類されます。

(1)	ほうし 胞子		
(2)	イ 2		
(3)	らし 裸子 植物		
(4)	Y	イ Z	ウ 4 完答
(5)	① オ ② ア ③ ウ 完答		5